

## 平成29年度第4回北杜市子ども読書推進計画策定委員会会議録

- (1) 会議名：平成29年度第4回北杜市子ども読書推進計画策定委員会
- (2) 開催日時：平成30年2月27日（火）午後2時～午後4時
- (3) 開催場所：金田一春彦記念図書館 ことばの資料館
- (4) 出席者：策定委員 溝口 たみ子／松村 雅子／柴山 裕子／山本 麻依子／佐野 恭子  
桜井彰一／横森 勝／高橋 達郎／田中 和美／浅川 希久子  
中田 治仁／小尾正人／加藤 寿  
事務局 坂本 あけみ（図書館長）／深澤 寛美・小野 まどか・相吉 悠（総務担当）
- (5) 議題： 1) 「北杜市子ども読書活動推進計画（第三次）」及び「ダイジェスト版」の内容検討  
2) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 該当なし
- (8) 傍聴人の数：0人
- (9) 審議内容

### 議 題

- 1) 「北杜市子ども読書活動推進計画（第三次）」及び「ダイジェスト版」の内容検討  
\*事務局より資料をもとに前回の計画案から変更のあった点について説明。

#### 第4章 具体的な方策 について

##### 2 学校等における子どもの読書活動の推進

###### (1) 学校における読書活動の推進

事務局：学校の先生から項目の追加をいただき、以下の7項目を新たに付け足した。「○図書館利用のためのオリエンテーションの実施」、「○朝読書の推進、朝読の時間の確保」、「○読み聞かせ、ブックトーク等の充実」、「○調べ学習のための支援」、「委員会活動による読書の推進」、「○多種多様な図書に触れ合うための展示・掲示の工夫」、「○ボランティア・保護者等による読書活動への協力」。

##### 3 市立図書館等における子どもの読書活動の推進

事務局：前回の指摘を受け「○関係機関との連携」の文末に、「並びに環境整備の充実」の文言を追記した。

## 第5章 計画の推進に向けて について

事務局：指標全体を対象年齢の低い順に並び替えた。また、低年齢の子どもを対象にした読書推進には特に力を入れて取り組むという方向性から、低年齢の子どもを対象にした指標の達成目標は高めに設定し直した。具体的には3つの指標を見直した。一つに「本の杜への招待状事業における絵本引換率」の平成34年度の達成目標を40%から50%に引き上げた。二つに「週3回以上家庭の中でお子さんに本を読んだり、一緒に本を読む回数の割合」を、平成29年度の51%という結果が平成24年度からすでに5%減少した結果であるためそれを引き上げるのは厳しい見込みではあるが、次回は電子書籍で読書に親しむケースを含めてアンケートをとれば数値上昇も期待できるのではないかと意見をから、数値目標を55%に設定した。三つに「本を読むことが好きな児童・生徒の割合」を、電子書籍を含むアンケート調査による期待値から小学校を80%から90パーセントに引き上げ、中学校を76%から80%に引き上げた。

## ほくと 子ども読書の杜プラン 施策体系

事務局：北杜市図書館が家庭に対して行う支援に「本の杜への招待状事業」を追記した。

## 参考資料

### 1 経過報告

事務局：第4回北杜市図書館協議会において「北杜市子ども読書活動推進計画（第三次）」（案）を「承認」となっているが「報告」に訂正する。

### アンケート集計結果

事務局：全体を帯グラフで統一し、平成24年度と比較ができる項目についてはグラフを二つ並べて提示した。

委員：アンケート結果の資料の隅の印刷が切れているところがあるので、設置用には気をつけてほしい。

事務局：承知した。

委員：第2章の5の（2）、「○本の杜への招待状事業」の本文中にあるアンケート調査について、「(略) おはなし会などに行ったか」との質問に対し「行った」と回答した家庭は（略）」とあるが、アンケート調査の質問では「行った」ではなく「参加した」という表現になっているので、訂正したほうが良い。

事務局：訂正する。

委員：「貸出」についての表記が、「貸出」と「貸出し」と「貸し出し」の3つが混在している。“この文章のときにはこの表現を使わなければいけない”という基準があるのであれば構わないが、特に決まりがないのであれば統一したほうが良い。

事務局：承知した。

委員：「はじめに」の書き出しが、「子どもたちは多くの可能性に満ち、また、さまざまな可能性を秘めています。」がしっくり来ない。「可能性」が連続しているので、例えば「子どもたちの未来は希望に満ち、また、さまざまな可能性を秘めています。」にしてはどうか。同じく5行目の「読書離れが加速度を増しても、一方で子どもにとって」という部分を「読書離れが加速度を増す一方で、」にしても良いと思う。第2章から本文中にパーセンテージが出てくるが、それに続く表の中では小数点以下まで書いてあるのに本文中では四捨五入した数字になっているので、本文中も小数点以下まで書いたほうが良い。それから、表とグラフの両方を載せているがグラフだけで良いのではないか。本文中にパーセンテージが出ていてもグラフがある箇所とない箇所が混在しているので、パーセンテージを示している箇所には必ずグラフを付けるなどの統一性があつたほうが良い。それから、p.4の保育園数や児童館等の施設数が異なるので、後で詳細の資料を渡す。同時に、参考資料にある活動施設一覧も変わるのだからこちらも修正してほしい。それから、p.8の子どもの読書週間についての注釈が「4月23日～5月12日の2週間」となっているが3週間ではないか。

事務局：子育てに関する施設については、条例や市ホームページで調べたものを載せた。

委員：条例上では、大きな括りで施設を載せているが子育ての計画上では細かく載せている。後で、事務局と相談のうえ最終的な施設数を掲載する。

委員：「はじめに」の書き出しを変えたら、ダイジェスト版の冒頭も同様に変える。

委員：グラフがあれば表はいらないということには賛成。それからp.5～p.6の棒グラフや表が横幅いっぱい広がっているが、文章の幅と同じに揃えて体裁を整えたほうが良いと思う。

委員：幅についてはパソコンの操作で簡単に直るものであれば直したほうが良いが、作りかえるのであればこのままで良いのではないか。

委員：今回で計画についての議論は3回目であり、ここまでである程度は固めてきている。内容の変更に関わることでなければ、「はじめに」の冒頭の変更と文言の訂正にとどめるべきだと思う。

委員：もっと早い段階で修正について言われれば変更にも対応できると思うが、表を

取り除くと目次のページが変わったり、全体的なレイアウトが変わってきて体裁を整えるのが大変である。文言の修正にとどめたほうが良い。

委員：子どもの読書週間についての注釈は「4月23日～5月12日」とする。

事務局：承知した。

委員：参考資料の「経過報告」について、『3月23日定例教育委員会において「北杜市子ども読書活動推進計画（第三次）」を承認』とあるが、計画名の後ろに「(案)」を追記したほうが良い。

事務局：承知した。

会長：「ほくと 子ども読書杜プラン」については終結してよろしいか。

委員：一同承認の拍手。

#### ダイジェスト版

委員：どのように配布する予定か。

事務局：市と地域で一体となって取り組もうということをして一人でも多くの方に知ってもらいたいと考えているので、できれば地区回覧を考えている。図書館や各公共施設や教育委員会、学校など多くの人の目につくところに設置することを考えている。

委員：計画の冊子にもダイジェスト版が付くか。

事務局：ダイジェスト版は色々なところに設置するが、計画の冊子にはつけない。市や図書館ホームページからダウンロードできるようにする。ダイジェスト版を見た方からの問合せや詳しいものを見たいという方には冊子を渡す。

委員：予算があるならば全戸配布をしたほうが良い。回覧だと見て終わってしまうので、地域や家庭でも子どもの読書活動をみんなで推進していこうという意図で作っているのだから、できれば全戸配布をしてほしい。それから、「計画の詳しい内容につきましては、北杜市ホームページをご覧ください。」と書いてあるが、計画の冊子を各図書館や市役所、各総合支所などでも見られるという一文を追加したらどうか。

会長：一般の方に配るとすれば、ダイジェストでボランティアに興味を持つ方もいるかもしれないので、「読み聞かせのボランティアをしたい方はお問い合わせください」といったようなことも載せてはどうか。

事務局：子ども読書と関わりが深いことではあると思うが、載せるとすれば欄外や一番後ろになるが良いか。

委員：情報は細かく入れすぎないほうが良いと思う。

委員：A4サイズを折った半分のサイズであるが、このくらいのサイズがいいのか。

委員：このくらいが場所をとらないし、使いやすい。

委員：ちょっと配ったりするのにも、このくらいの大きさが良い。

事務局：あまりにも情報量が多いとそれだけで読む気が失せてしまうと思ったので、できるだけ簡略化したものを作成した。それから、市全体の取組みだということをお知らせしてもらえたらと思い、そこを強調して作った。「私は関係ない」ではなく、みんなでこの計画を推していこうという意味を込めて作った。

委員：ダイジェスト版のタイトルを計画の冊子のタイトルと同じ書体にした方が良い。

事務局：タイトルの書体をポップ体に揃える。

委員：市民にわかりやすいように、表紙の文章をもっと簡略化して「市民みんなで取組みましょう！」と訴えて、何に取り組むかという部分を大きく書くのも良いと思う。「計画のめざすもの」の内容がプランに書いてあることと同じで間違っているわけではないが、もう少し簡単な書き方にした方が良いとは思いますが、ダイジェスト版だからこれで良いという気持ちもあり、迷うところである。

委員：学校で色々なダイジェスト版を目にするが、このダイジェストの文章は硬さを感じる。保護者が見たときに「すごいね」で終わってしまう気がするので、自分たちも一緒になって取り組むという気持ちになるようなものが良いとは感じる。字数を減らしたり、呼びかけるような言葉に代えたりしてはどうか。

会長：ダイジェスト版はみんなに簡潔に伝えて、色々な人が手に取るものである。しっかりした内容はプランに書いてあるので、ダイジェスト版では本のことをもっと知らせようというアピールをして、文章を子どもの目線に置き換えて伝えてはどうか。例えば一般の方が見たときに、「ボランティアと市立図書館が協働でイベントを開催する」ことに興味を持ってもらうために「あなたの力が本に加われば良いな」とか、「子どもが読書に親しむ環境整備・充実」については「本を開くってどんなこと？」のように置き換えていけば良いと思う。子どもがこのダイジェスト版を持って「こんなの持ってきたよ」と言って親に渡し、それをみた保護者が「ちょっと市立図書館行ってくるわ」となるようなものができれば良いと感じた。

委員：ダイジェスト版は子ども向けに書かれたものなのか。

事務局：一般向けなので、計画本体のものを引用した形で作った。表現を変えるということであれば全体的に変えなければおかしくなる。今回の委員会が最後なので、表現を変えたあとにみなさんで議論していただく場がもうない。指摘をいただいた委員の方々が学校関係なので、知恵を拝借しながら作成しなおして、委員のみなさんに再度お送りするということではいかがか。

委員：ダイジェスト版が全4回の会議を通してまとめと話し合いができれば良かったが、第3回に急に出た提案だった。このダイジェスト版が大人向けに書いたものであれば、文章を修正するところは多少あるかもしれないが、あまり崩した文章にするよりはこのままが良いと思う。みんなの意見を集約してこれでいいか確認をとってから教育委員会に提出するというのはスケジュール的に厳しいのではないか。

事務局：スケジュール的には非常に厳しい。教育委員会への提出の前に、図書館協議会で経緯を説明し、完成した計画を報告することになっている。もし指摘をいただくのであれば、この場で具体的に「ここはこう訂正してほしい」と言ってもらいたい。

委員：表紙の出だしの文言は、「幼いころの～（以下略）」から入っても良いと思うがいかがか。ダイジェスト版なので短くてわかりやすい方が良いと思う。文字数が少なくなった分、二つの段落で構成されていたものを一つにして、その分文字のサイズを大きくしてはどうか。

委員：その方が良いと思う。

委員：「本との出会い」が「出会い」となっている箇所があるので訂正してほしい。

事務局：承知した。

会長：中面の見出し「ほくと 子ども読書の柱プラン」についても、本誌とダイジェストの見出しのフォントに揃えるか。

委員：中面はこのままのフォントで良い。

委員：ボランティアに参加したい方へ呼びかけを載せたらどうかという話があったが、図書館の目立つところにポスターが貼ってあり、広報で呼びかければダイジェスト版に載せる必要はないと思う。

会長：ページの最後に問合せ先が載っているので載せなくて良い。

委員：市のミズクマのマークはつけないのか。

委員：ミズクマはこの計画とは少し違うので、図書館のヤマネを使ったらどうか。

事務局：フクロウは市の鳥で、市長の意向でできるだけフクロウを使うようにということでフクロウを使ったが、ヤマネにした方がいいか。

委員：どこかにヤマネちゃんも入れたほうが図書館ということがわかって良い。

委員：市立図書館の一番下「地域全体で子ども読書活動を推進するため、地域団体等

との連携や、地域住民への周知に努めます」とあるが、前半の「地域全体で子ども読書活動を推進するため、」は計画すべてに関わるので割愛して「地域団体等との連携や、地域住民への周知に努めます」としてはどうか。

事務局：承知した。

委員：一般の人には「レファレンス」が難しいので、言い換えられないか。

委員：レファレンスはわかりにくい。

委員：利用者からの質問に対して答えを教えるのではなく、それを調べるにはこの本をご覧ください、と資料を提供して答えを探す手がかりを提供すること。調べたいことの手助けをすることである。

委員：「本に関する相談や質問」としてはどうか。

委員：実際は本だけではないがどうするか。

委員：ある程度限定しないと広がってしまう。相談という表現に含みを持たせる。

委員：「本に関する相談や質問に対応し、子どもの読書活動を支援します」とする。

会長：一般の大人の方が聞いてわかるようなことばに置きかえるということであるが。今の子育て世代の30代前後の方を大人とするなら「促進」と「啓発」と「推進」はあまり使わないのではないか。「推進します」は「進めます」、「実施します」は「行います」とかにしたら硬さが和らぐのではないか。ダイジェスト版の配布が一度終了したら、普段使いのことばに代えて再編集するのはどうか。

委員：3月5日の図書館協議会でダイジェスト版も配るのか。

事務局：その予定であったが、ダイジェスト版については時間をかけて修正してから報告したほうが良いと考えている。

会長：事務局で練り直して、全員で校正するか選抜の委員で校正するか。

委員：日にちにもよる。

事務局：練り直したものを全委員に送付するので、意見があれば連絡をもらう方法をとる。最終的には、教育委員会で決定させていただくことになるがよろしいか。

会長：よろしければ拍手をお願いする。

委員：一同承認の拍手。

## 2) その他

- ・特になし

### 【追記】ダイジェスト版の配布について

事務局：「地区回覧を考えている」と申し上げたが、パブリックコメントの対象としなかつ

たこともあり、教育委員会で再考した結果、図書館をはじめとする各公共施設や教育委員会、保育園、児童館、学校等の設置とする。

以上